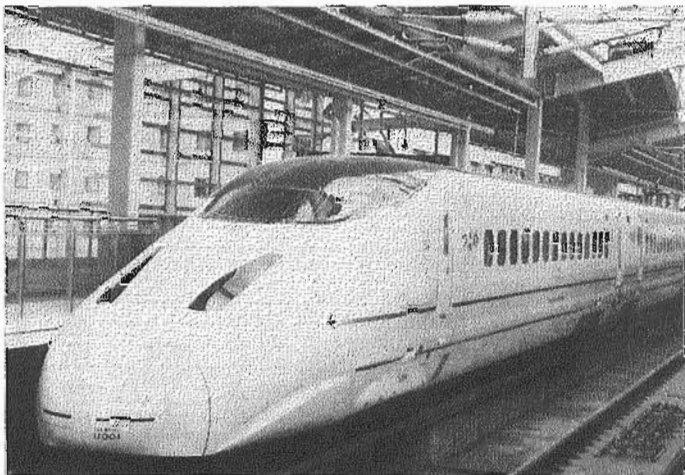


九州新幹線きょう開業

多くの建設業者汗流す

駅本体や周辺整備等



いよいよ運行を開始するつばめ
＝鹿児島市の鹿児島中央駅で

九州新幹線鹿児島中央駅から新八代がきょう13日開業する。開業ムードを盛り上げる、さまざまなイベントが始まり、12日は鹿児島市内で前夜祭が開かれた。これまで鹿児島中央駅をはじめ、川内前広場整備、植栽、通路、

東西自由通路、調査設計、交差点信号機などの整備が地元企業によって進められた。また、出水市でも東口・西口広場整備をはじめとする工事のほか、植栽、東西自由通路、活性化施設、モニメント、案内看板、舗装、駐輪場、周辺道路整備などが行われ、開業を待ちわびている。

実際、駅舎や駅前広場、地下通路などを目的とした新しき駅、駅周辺の様変わりように驚かされる。新幹線のホームから桜島を臨め、駅前には薩摩切子をモチーフにしたモニメントなることが期待できる。

新幹線開業控え清掃奉仕

公園や歩道で汗流す

県ビルメンテナンス協会

県ビルメンテナンス協会(野元一喜会長)は12日、鹿児島市でボランティア活動を実施、九州新幹線開業に伴う各種イベントの開催を前に、ごみ

鹿児島中央駅(西鹿児島駅)メインストリートの歩道や植栽に飛散したごみの回収、舗道や公共構築物の洗浄作業などを実施した。

作業を前に、野元会長が「待ちに待った新幹線開業を控え、各地で行われるイベントには、多くの来客が見込まれる。市

平川県建築技監が退任挨拶

「多くの関係者に感謝」



昭和45年に入庁以来、34年間の長きにわたり、土木建築行政に携わってこれたのも、ひとえに多くの関係者のご指導、ご支援があったからこそと感謝いたします。

これまで多くの住まいをはじめ、地域・街づくりに参加させていただき、その都度、多くの方々にさまざまなことを教えて

迫田企画部長も退任



なお10日の委員会終了後には、3月末で勇退する迫田企画

下ではありますが、本県の土木建築行政の着実な推進が図られることを念願しています。長い間、本県にありがたくございました。

ことは、後輩の訓練生に対しても参考になります。いよいよ新しい人生に向かって出発するわけだが、本校の修了生という誇りを忘れないでほしい」と挨拶。修了生総代の田中和博さんに修了証書を、修了生を代表して堂園修さんに技能調査合格証を授与したほか、県知事賞などの賞状授与式や皆勤賞、感謝状、記念品贈呈なども行われた。

高明産業が廃業届け

老舗の看板また一つ

川内市の工事で有終の美

(株)高明産業(木原愛子社長、本社・川内市)は、3月末で廃業届を出すことを決めた。昭和32年に故・木原高明氏が創業、引き継いだ孝文社長が14年10月、59歳の若さで病死。後継者がいなかったのが廃業を決めた理由だった。建設許可番号は第1784号。老舗の看板がまた一つ消える。愛子社長は「最後まで

と従業員たちの努力で今日こころまでやって来られたことを感謝しています。孝文社長の3回忌でもある今年、断腸の思いで決めました」と

地域発展のために一生懸命やってきたこと。人様に迷惑をかけるような重大事故は一度もなかったこと、この二つが誇りです」とも。

「残りの人生もなるべく人に迷惑をかけるように、これからは自分を自分でおもいをします」と

と笑った。残った社員らは同社最後の仕事、川内市発注の川内市総合運動公園全天候型広場園路等整備工事に有終の美を飾る。



雨の中、清掃に励む会員
＝鹿児島市の港大通り公園で

鹿児島造園技術専門校修了式

門出祝いエール贈る



修了証書を授与される修了生
＝鹿児島市の鹿児島造園技術専門校で

参加者は、ごみ袋を手を持ち、落ちているごみや空き缶、たばこの吸殻などを手際よく拾い集めた。また、特殊班による作業では、路面や壁面の汚れがひどい箇所について

式の冒頭、福永校長は「2年間の訓練を全員が皆勤で勉強を続けられた

表彰者は次の通り。県知事賞＝今給黎義哉▽鹿児島市長賞＝田中和博▽県職業能力開発協会賞＝加塩俊広▽県技能士会連合会長賞＝今給黎まり子▽鹿児島市認定職業能力開発連絡協議会長賞＝陳尾千秋▽県造園技術協会賞＝堂園修▽県造園技能士会長賞＝鶴田登▽県園芸装飾技能士会長賞＝有美千代▽県庭園管理士会長賞＝肥後雅

断

九州新幹線開業盛大に祝う

工事関係者らに感謝

しゅん功開業式・祝賀会も

九州新幹線の鹿児島中央―新八代間(約127km)は13日、着工から約13年の歳月を経ていよいよ開業、県内各地では多彩な式典やイベントが開かれ、その幕開けを祝った。

鹿児島中央駅では同日、午前6時の一番列車出発から、多数の来場者でにぎわった。



オープニングセレモニーでくす玉割りを行う須賀知事ら(上)と祝賀会で地域の発展を祈念し乾杯する関係者

駅前広場で行われたオープニングセレモニーでは、須賀龍郎県知事が「この記念すべき日を、

また西口近くの駅舎内では、76年間続いた「西鹿児島駅」から「鹿児島中央駅」への改称記念銘板除幕式も行われ、同日から駅内の表示は一新に一新された。新駅名に変更された。設置されたステンレス製の銘板には、その歴史や改称の経緯、募金者名などが刻まれている。赤崎義則鹿児島市長は「改称については、推進協議会や県民の熱意が成功させたもの。今後の鹿児島市の発展にふさわしい駅名となり、感謝無量である。募金などを通じて、協力いただいた皆様深く感謝いたします」などと述べた。銘板には、建設に携わった企業、団体なども数多く刻まれており、感謝状なども贈呈された。会場には、記念すべき銘板を一目見ようと、多くの来場者が詰め掛け、写真に収める姿も見受けられた。

代を担う子供達にも夢を与えることができたことは非常に大きい。この開業を機に、地域がますます発展し、発展していくことを祈念する」などと祝辞を寄せた。



開業を祝いテープカットする関係者
＝鹿児島市の鹿児島貨物ターミナル駅で

鹿児島貨物ターミナル駅開業式(主催・日本貨物鉄道(株)九州支社)が15日、JR貨物の社員、関係者ら約70人が出席して同駅構内で開かれ、南九州の物流拠点の完成を祝った。

当日は記念式典の前に、関係者が見守る中30フィートコンテナの積み込み作業の実演も行われた。式典では、主催者を代表して大島聡日本貨物鉄道(株)執行役員九州支社長が「貨物ターミナルの完成に伴い、大型のコンテナやダイヤも増強されま

た。今後は同ターミナル駅が県民に利用しやすくなり、また南九州の経済発展に一層貢献できると思いま

このあと、杉田裕九州運輸局鹿児島支局長、迫田昌興企画部長、木村耕一鹿児島市助役らがテープカット、森卓朗川内市長らがくす玉割りを行い、開業を祝った。

同ターミナル駅は、九州新幹線・八代―鹿児島中央間の開業に伴い、貨物鉄道の利用促進に向け、貨物列車の増発及びコンテナホームの拡幅、荷役線の延長、鹿児島駅構内の一部電化等の改良を行った。同事務所建設の施工は、太平工業(株)・東都建設(株)が担当。改修工事の施工は九鉄工業(株)、九州電気システム(株)が担当。総事業費は、拡幅工事や新事務所建設など含み約3億円。

なお、同日は場所を移して祝賀会も催された。

川内駅周辺でも各種イベント

新幹線波及効果に期待

新幹線開業でにぎわった川内駅周辺で13、14日、各種イベントが開催された。人・情報が高速で行き交う地方の新時代に突入。新幹線波及効果や今後の展望をきいた。



初披露
(株)協和建設(東別府錠二社長)は同市向田本通り(約1.5km)の路上で、土を使わない軽量(70kg/㎡)の屋上緑化システムを県内で初めて披露した。

この代わり肥料効果cm、厚さ4cm)に成型。

このブロックを敷き詰めて屋上を緑化するというもの。ブロックと足は一体成型で、足の高さは約21cm。

防水層に直付けしないので防根シートは不要。このためシートが破れて防水層との間に水がまわることもない。接着面との間に空気層ができるので断熱性能は一段と向上する。また根の先端は空気にふれると休眠するので根が張る心配もない。足底は緩衝マット付きで防水層を傷つけることもない等、防水現場に精通した、しかも施工後の管理面にも配慮した工法になっている。



植村グループ、(株)川北電

長崎県佐世保市から全国発信した開発者の坂田末好社長(サカタ工業(株))も顔を寄せ、説明に役

工、(株)外園運輸機工などが協力を申し入れ実現した。歩行者天国に開放された通りには、パトカーや32台のバス、高所作業車など10数台が運び込まれた。子供たちを喜ばせた。高所作業車の試乗コーナーでは子供たちがバケツに乗って大はしゃぎしていた。

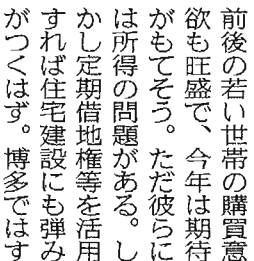
この試乗会の安全誘導のために県建築士会川薩支部青年部が駆けつけ事故防止に一役買っていた。ある会員は「商店街と一体となつて何かを仕掛けられこんな人が集まる。新幹線駅前商店街にふさわしい顔をつくってみたいですね」と話していた。



大野金物建材を見て歩いた。

「新幹線開業で川内と鹿児島はもっと密着した地域になるのでは。30代前後の若い世帯の購買意欲も旺盛で、今年は期待がもてる。ただ彼らは所得の問題がある。しかし定期借地権等を活用すれば住宅建設にも弾みがつくはず。博多では

「3LDK、12戸の入



新幹線開業日に完成見学会を開いた(株)コアツ工業のカトラホーム、(株)成建ホームの太陽光発電+オール電化住宅、(株)橋口組ユースマンションや毎年この時期に展示即売会を開いている(株)



の需要は続くのでは」(株)橋口組営業部主任)。「大展開会は今月20数年続いています。新幹線イベントで人の流れが変わって今年は来場者数が少し減りましたが、通常の3〜4割引きなので常連客を中心に堅調な売れ行きです。システムキッチンが20万円から60万円台までと価格帯に幅があるので求めやすくなりやはり人気の商品。64万円がきょう1セット出ました。少しは景気が上向いてきたのでは」(株)大野金物建材担当者)。